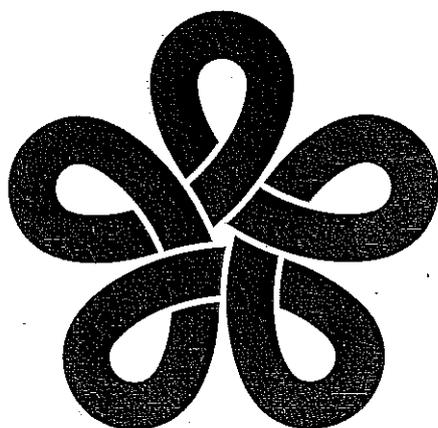


福岡県 就学サポートノート



福岡県・福岡県教育委員会

引き継ぎシートの記入にあたって

公立・私立共通

引き継ぎシートA (保育所(園)・幼稚園 → 小学校・特別支援学校)

本人の名前	記入者 (所属・氏名)
生年月日、	男・女
年 月 日	

本人の将来の夢・希望	
好き・得意なこと	嫌い・苦手なこと
項目	各項目に関する記入の観点例
健康面	睡眠・栄養・生活リズムに関する事、発作の有無など
視覚	視力、色覚など、視覚に関する事
聴覚	聴力、補聴器の使用など、聴覚に関する事
移動	歩行の状況 (階段昇降、坂道など)
食事	好き嫌い、食物アレルギー、食事上の配慮など
排泄	排便・排尿の状況、排便後の処理など
衣服着脱	着る、脱ぐなど
感覚過敏	視覚・聴覚・触覚・嗅覚などに関する感覚過敏など
危険行為	交通、危険な場所や高所への立入、火気や刃物の使用、異食など
パニック	パニックの有無など
こだわり	こだわりの有無など
指示理解	指示の理解・遂行など
注意持続	注意の持続、不注意など
多動・衝動	多動性・衝動性の有無など
集団参加	集団行動への参加、ルール理解など
対人関係	教師や友達とのかかわりなど
日常会話	会話の成立など
意思伝達	言葉、身振り、サイン、絵・文字カード使用など
文字・数	名前の読み、数唱など

このような観点を参考にして、有効な支援等を記入してください。

※ 支援を要する項目に☑(チェック)を入れ、該当項目に関する状況や有効な支援等を記入する。

○ 就学後も継続してほしい配慮事項など (保育所・幼稚園から)

これまでに保育所・幼稚園で行われてきた効果的な支援など、就学後も継続してほしい事柄について記入します。

○ 関係機関 (医療・療育・福祉・福祉、地域生活など)

お子さんにかかわりのある関係機関や担当者について記入します。

○ 学校生活に関する期待・要望など (保護者から)

学校生活での保護者の願いを記入します。

本シートを就学先の学校へ提供することに同意します。

※添付資料 (生活の記録や個別の指導計画、個別の教育支援計画などの資料を添付すると参考になります。)

平成 年 月 日

保護者氏名 印

記載内容は、個人情報なので、必ず保護者の同意が必要です。

◇「ふくおか就学サポートノート」作成・活用のメリット

- 対象の子どもに関する情報収集・実態把握が速やかにできます。
- 関係者（先生や担当者など）が、対象の子どもに関する情報を共有することで、一貫した支援を行うことが可能になります。
- 就学・進学しても、対象の子どもに関する情報を引き継ぐことができるので、継続した支援を行うことが可能になります。

◇「ふくおか就学サポートノート」の作り方・使い方

① 周知・配布する。

保護者に対してふくおか就学サポートノートの周知を図り、希望者に配布してください。不足した場合は、市町村の母子保健担当課・教育委員会にお尋ねください。また、福岡県庁のホームページからダウンロードできます。

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/e04//support.html>

② 作成を支援する。

保育所・幼稚園・学校では、対象の子どもの様子などを情報提供し、ノートの作成を支援してください。保護者とともに作成したり、専門家による巡回相談を活用したりする方法も考えられます。

③ 「引き継ぎシート」を使って、情報を引き継ぐ。

ノートの中の「引き継ぎシート」を使って、就学先・進学先の学校等に伝えます。その際、保護者が直接伝える方法もありますが、保育所や幼稚園、学校等が、保護者同意に基づいて連絡会等で引き継ぐ方法も考えられます。

情報を引き継いだ学校では、記された情報をもとに「個別の教育支援計画」を作成し、対象の子ども一人一人に応じた支援を行ってください。

保護者に説明するために…

◇「ふくおか就学サポートノート」とは

ふくおか就学サポートノートは、成長が気になるお子さんの入学に向けて、成長の記録をまとめるためのノートです。現在のお子さんの状態や支援内容・方法等の情報を整理して小学校等へ伝えることで、安心した学校生活のスタートにつながります。

◇「ふくおか就学サポートノート」作成・活用のメリット

- お子さんの情報を整理することで、お子さんのことを改めてよく理解することができます。
- お子さんのことを正確に分かりやすく説明することができます。

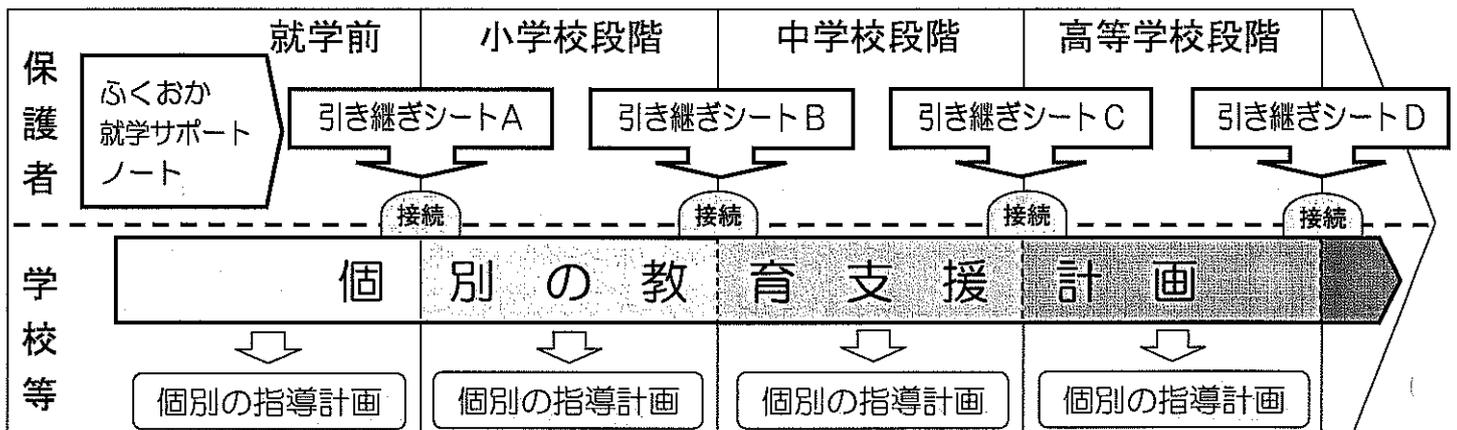
一貫した継続性のある支援を充実するために

ふくおか就学サポートノートを活用しましょう！

ふくおか就学サポートノートは、特別な教育的支援の必要な子どもが一貫した継続性のある支援を受けることができるように、保護者（または本人）が主体となって作成・保管するものです。

保育所・幼稚園・学校では、このノートに記された情報をもとに、各段階（ライフステージ）に応じた「個別の（教育）支援計画」を作成・修正することで、一人一人に応じた支援を行うことができます。

対象の子どもの保護者に対して活用を促すとともに、保護者から提示された際には、積極的な作成支援や効果的な活用をお願いします。



個別の教育支援計画とは

障害のある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを正確に把握し、乳幼児期から学校卒業後までの一貫した的確な支援を目的として作成されるもので、家庭、福祉、医療、労働等の様々な側面からの取組を含め関係機関との連携について書かれた計画のことです。

作成された個別の教育支援計画は、「ふくおか就学サポートノート」の中の「引き継ぎシート」を活用しながら、各学校段階に応じて修正していきます。

個別の指導計画とは

一人一人の障害の状態等に応じたきめ細かな指導が行えるよう、学校における教育課程や指導計画、当該幼児児童生徒の個別の教育支援計画等を踏まえて、より具体的に幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応して、指導目標や指導内容・方法等を盛り込んだ計画のことです。

ふくおか就学サポートノートの作り方・使い方

ふくおか就学サポートノートは、関係者がお子さんのことをよく理解し、お子さんが一貫した継続性のある支援を受けることができるように作成するものです。お子さんの情報を整理して小学校等へ伝えることで、安心した学校生活のスタートにつながります。

1 「ふくおか就学サポートノート」を入手する。

このノートは、福岡県教育委員会の HP から、自由にダウンロードできます。ページを追加したり、縮小印刷したりするなど、工夫して活用することができます。

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/e04//support.html>

2 情報を記入して保管する。

記入にあたっては、保護者や本人だけでなく、保育所（園）や幼稚園などの先生方に協力してもらいながら記入します。項目のすべてを記入する必要はなく、書けるところから書き始めるとよいでしょう。

また、作成したサポートノートは、将来、支援を考える際のヒントになるので、母子健康手帳などとともに大切に保管しましょう。

3 「引き継ぎシート」を使って学校に伝える。

保護者が、情報を知ってほしい相手（学校や相談機関など）に、このノートを直接見せたり必要な部分の写し（コピー）を渡したりします。

就学・進学先の学校に伝える際は、「引き継ぎシート」を活用してください。その際、保護者が直接伝える方法もありますが、保育所（園）や幼稚園、学校、教育委員会等を通じて伝えるとスムーズです。

記載内容は、お子さんの大切な個人情報です！

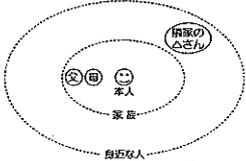
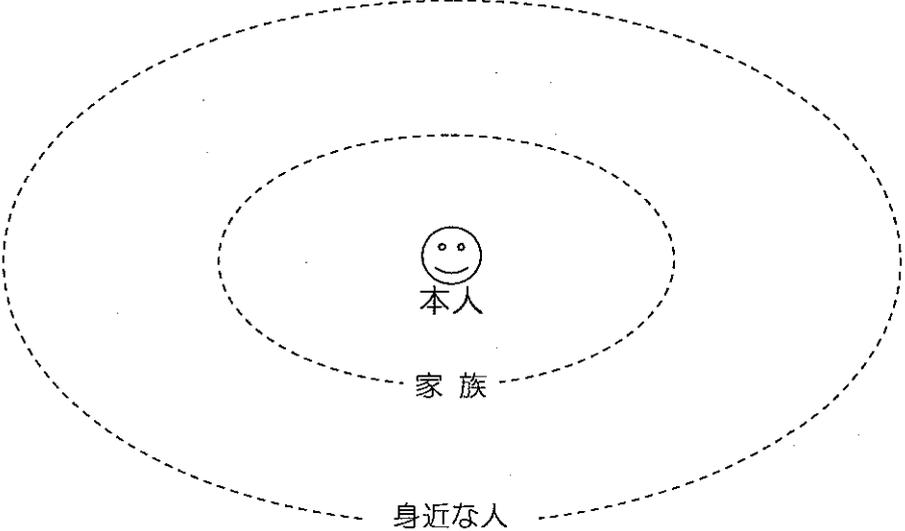
- ふくおか就学サポートノートの管理は、保護者（本人）が行います。
- 記載内容については、保護者（本人）が許可した関係者だけが活用できます。許可された関係者であっても、無断で第三者に情報提供することはできません。

も く じ

- ① プロフィール（その1～4）
- ② 外出先で…「こうすれば、大丈夫です！」
- ③ 相談・受診・健康診断等の記録
- ④ 資料等の貼付欄
- ⑤ 引き継ぎシートA〔保育所（園）・幼稚園 → 小学校・特別支援学校〕
- ⑥ 引き継ぎシートB〔小学校 → 中学校・特別支援学校〕
- ⑦ 引き継ぎシートC〔中学校 → 高等学校・特別支援学校〕
- ⑧ 引き継ぎシートD〔高等学校 → 進学・就職先等〕

プロフィール (その1)

[作成日: 年 月 日]

(ふりがな) 本人の名前	男・女	写 真
愛称(呼び名)		
生年月日	年 月 日	
連絡先	〒 福岡県 Tel ()	
緊急連絡先	① ②	
支えてくれる人 (記入例) 	 <p>※ 本人を支えてくれる人について、図に記入します。</p>	
保育・教育歴	年 月 ~ () 年 月 ~ () 年 月 ~ () 学校 年 月 ~ () 学校 年 月 ~ () 学校	
就学に向けた 保護者の願い		

プロフィール (その2)

本人の特徴	
診断名	
かかりつけの 医療機関等	
持病・服薬等 (アレルギー等)	

	実施日 (年齢)	実施機関	結果等
診断・ 検査等の 記録			